

【主な時系列】

5月23日

- 1 1 時 5 5 分 陽子ビームの異常警報によりビーム停止
- 1 2 時 0 8 分頃 警報リセット、ビーム連続運転再開
- 1 2 時 3 0 分頃 中性子検出器の線量上昇を確認
- 1 3 時 3 0 分頃 ハドロンホール内のガンマ線モニタの線量が通常時の 1 0 倍（4 マイクロシーベルト毎時）に上昇
- 1 4 時 2 6 分頃 ビーム運転を停止しガンマ線モニタの線量低下を確認
- 1 5 時 1 5 分頃 ホール内の排風ファンを回したところ、さらにガンマ線モニタの線量低下を確認
- 1 5 時 3 2 分頃 ビーム連続運転を開始し排風ファンを停止
- 1 6 時 0 0 分頃 ハドロンホール内を放射線サーベイした結果 4～6 マイクロシーベルト毎時と高い値を測定。ガンマ線モニタも線量上昇。
- 1 6 時 1 5 分 ビーム停止
- 1 7 時 0 0 分頃 ホール内の汚染を確認
- 1 7 時 3 0 分頃 ホール内作業員の身体汚染検査の結果、基準値以下（4 ベクレル毎平方センチメートル以下）であることを確認。また、ホール内の空気中の線量を低下させるため排風ファンを運転。
- 1 9～2 0 時 ホール内の線量測定及び表面汚染測定を実施
- 2 3 時 3 0 分頃 施設内全員が管理区域から退出し人の立入を禁止

5月24日

- 1 7 時 3 0 分頃 JAEA 核燃サイクル工学研究所のモニタリングポスト指示値が 2 3 日 1 5 時頃及び 1 7 時 3 0 分頃に上昇していることについて、同所から関係部門に問合せ
- 1 8 時 0 0 分頃 ハドロン実験施設の管理区域境界のガンマ線モニタの記録を確認したところ、2 3 日 1 5 時頃と 1 7 時 3 0 分頃に放射線レベルの上昇していることを確認。また、当該時刻がホール排風ファンの動作時刻とほぼ一致していることを確認
- 2 2 時 3 6 分頃 法令に基づき原子力規制庁に報告

5月25日

- 1 時 0 0 分頃 内部被ばく評価の結果、約 2 ミリシーベルトの被ばくを確認